

はまみだいらちく
浜見平地区における生活防災拠点としての
りべんせい あんぜんせい こうじょう
利便性・安全性の向上(第1回変更)

ちがさきし
茅ヶ崎市

平成26年3月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

平成 25 年 8 月 1 日

計画の名称	浜見平地区における生活防災拠点としての利便性・安全性の向上			
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	茅ヶ崎市	
計画の目標				

浜見平団地の建替に伴い、緑地、道路の整備を行い、生活・防災拠点として安全・安心なまちづくりを行う。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・松尾川の緑道化整備に伴う満足度アンケートを通行者に対して実施（満足度：36%→60%）
- ・左富士通りの電線地中化及び道路整備に伴う満足度アンケートを通行者に対して実施（満足度：37%→60%）

定量的指標の定義及び算定式

松尾川雨水幹線の暗渠化及び緑道化を行い、通行者に対して整備に関する満足度アンケート調査を行う。

左富士通りの電線地中化および道路整備を行い、通行者に対して整備に関する満足度アンケート調査を行う。

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
36%	45%	60%	
37%	45%	60%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	652,395千円	A	652,395千円	B	0円	C	0円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C) / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	----	---	----	------------------------------------	------

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (千円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	住市総	一般	茅ヶ崎市	直接	茅ヶ崎市	浜見平地区住宅市街地総合整備事業	緑道化 942m 電線地下埋設 864m 道路整備 950m	茅ヶ崎市						652,395	
合計													652,395		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

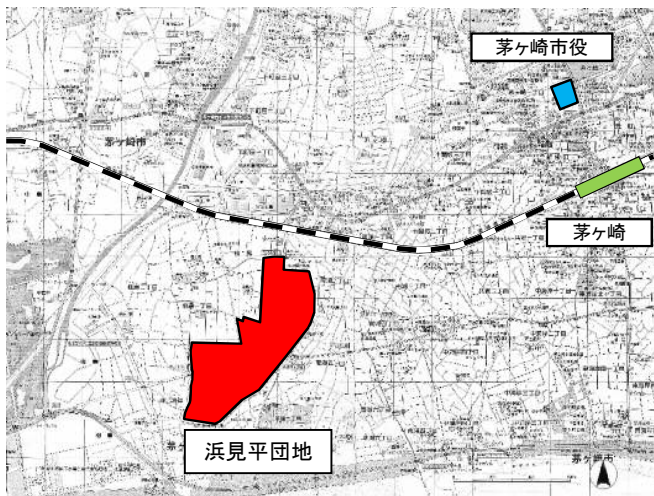
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

(図面) 地域住宅支援

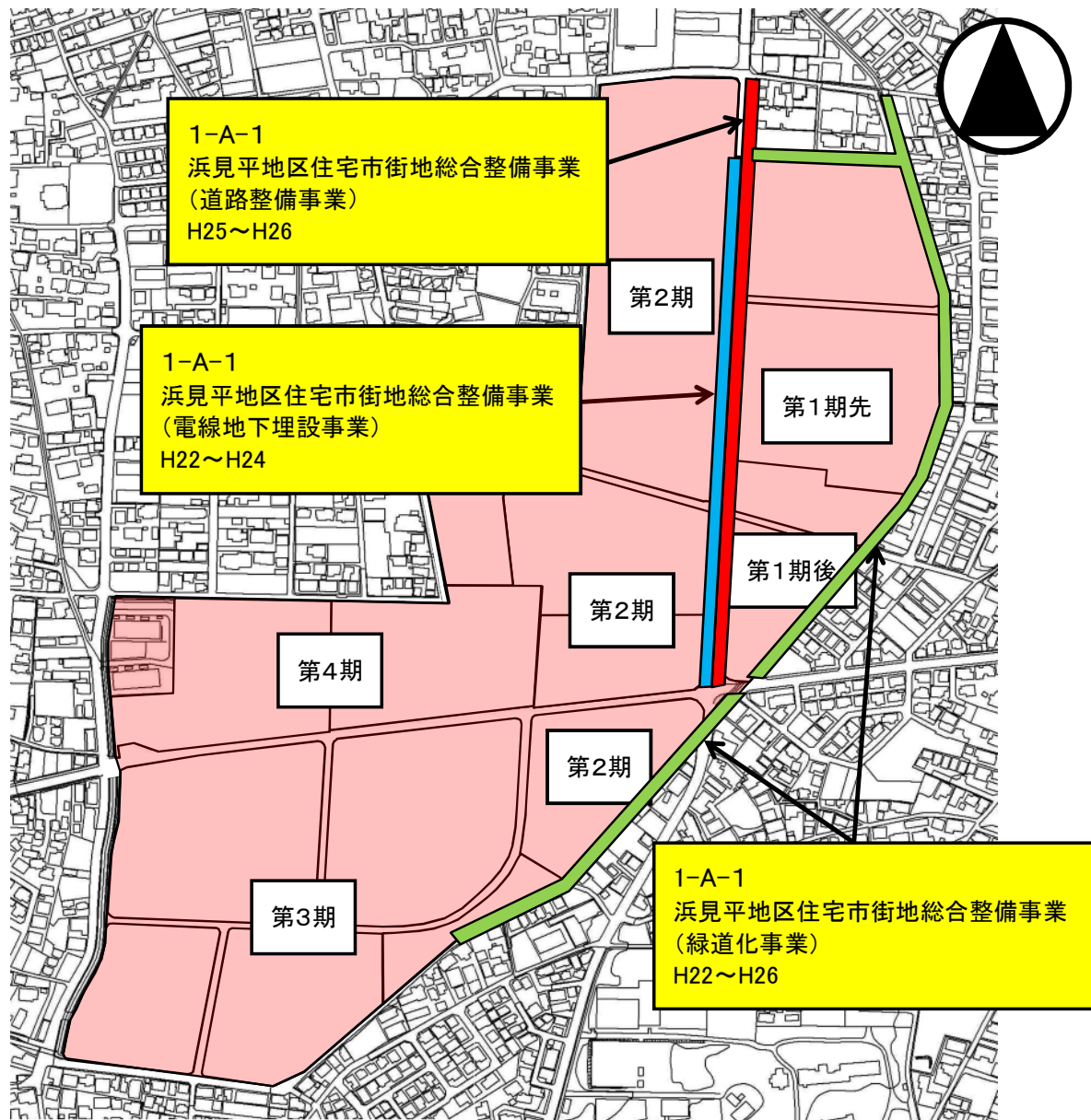
計画の名称	浜見平地区における生活防災拠点としての利便性・安全性の向上		交付対象	茅ヶ崎市
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)			

【浜見平地区】



凡例

- 基幹事業
- 団地建替範囲



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称： 浜見平地区における生活防災拠点としての利便性・安全性の向上

地方公共団体名：茅ヶ崎市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1)総合計画及び都市マスタープランへの位置づけがある。	○
2)その他の計画への位置づけがある。(浜見平まちづくり計画・浜見平地区デザインガイドライン等)	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
1)数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
②定量的指標の明瞭性	
1)松尾川雨水幹線の緑道化の整備	○
2)電線地中化の整備	○
3)幹線道路及び歩道の整備	○
③目標と事業内容の整合性	
1)数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	
1)少子・高齢化社会への対応を図っている。(バリアフリー化の実施)	○
2)広域防災拠点としての対応を図っている。(緑道・道路等の整備)	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高く、住民等の合意形成を踏まえている。	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
1)事業実施にあたり、都市再生機構との協議を行い、連携を図っている。	○